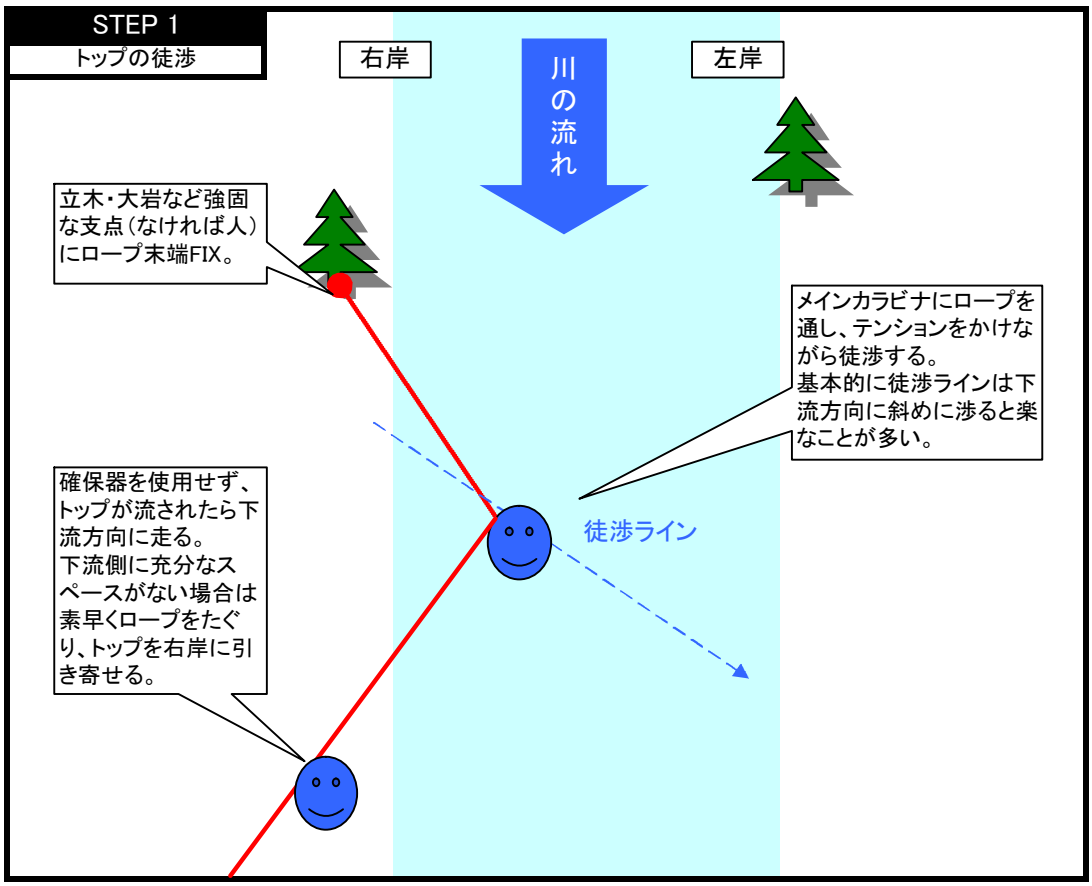
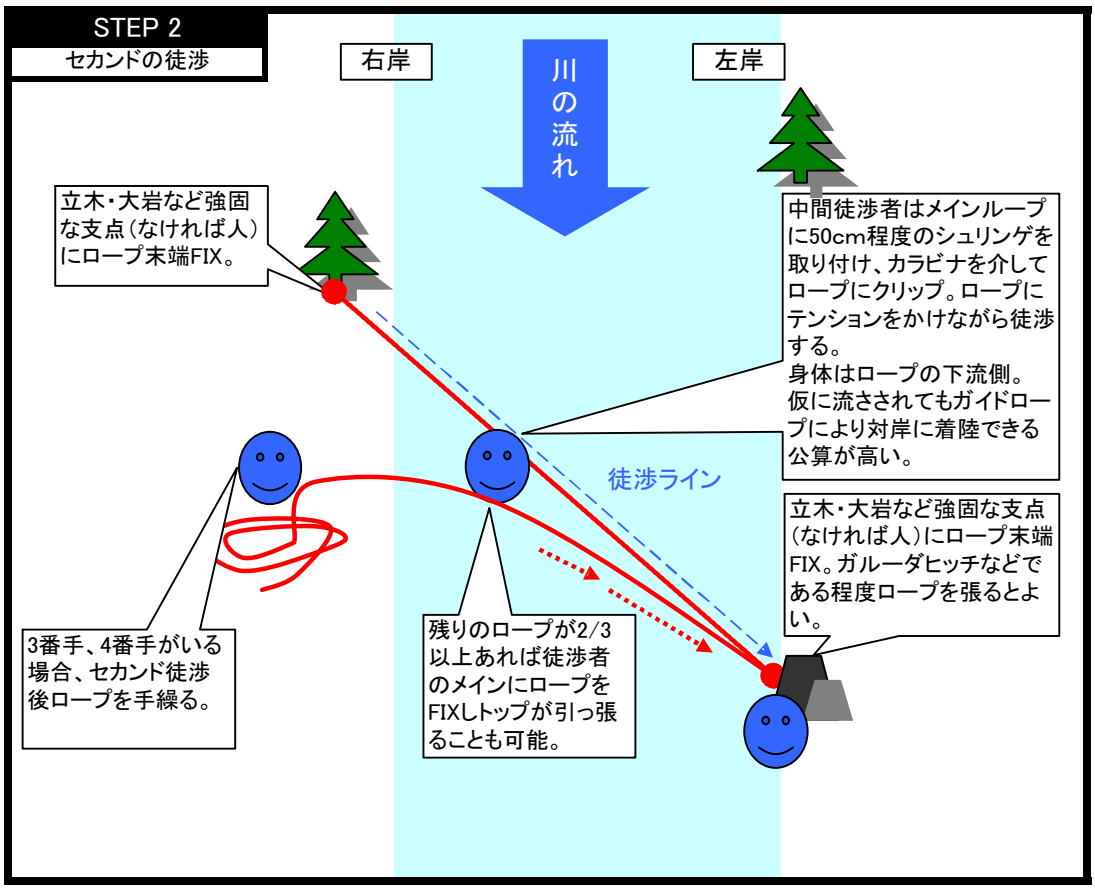
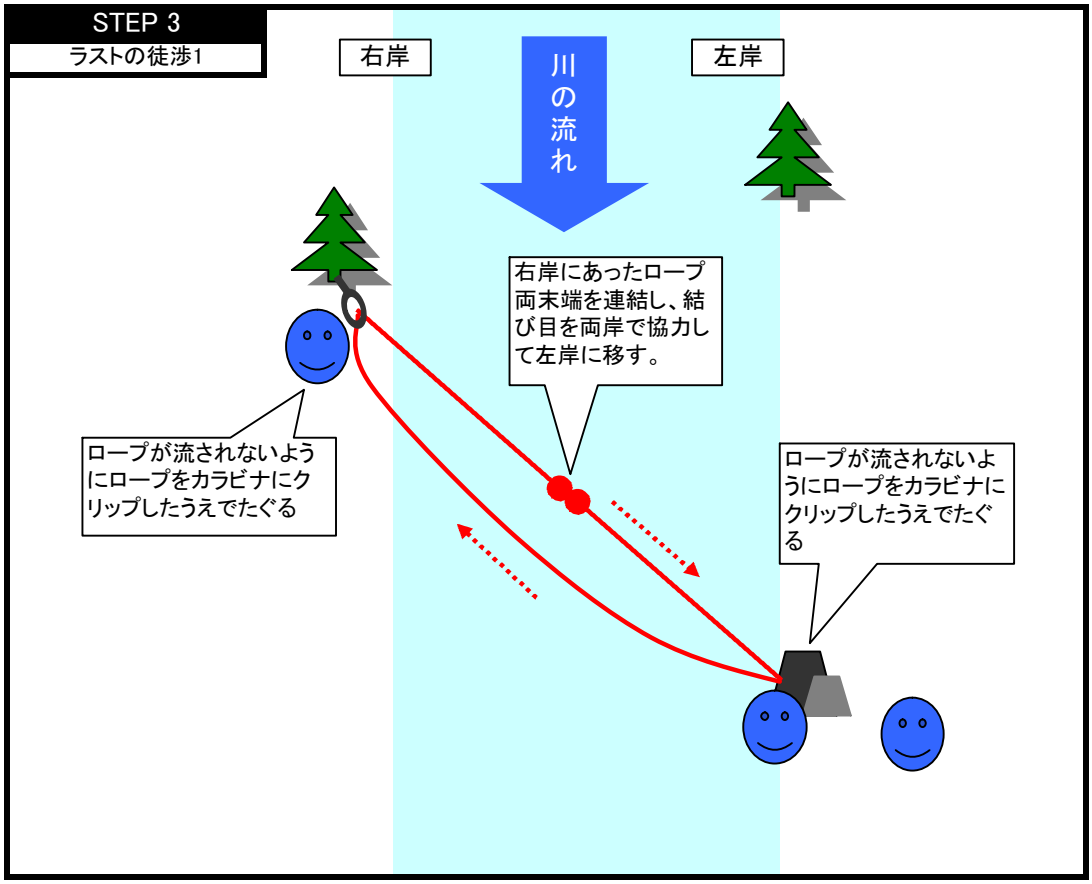
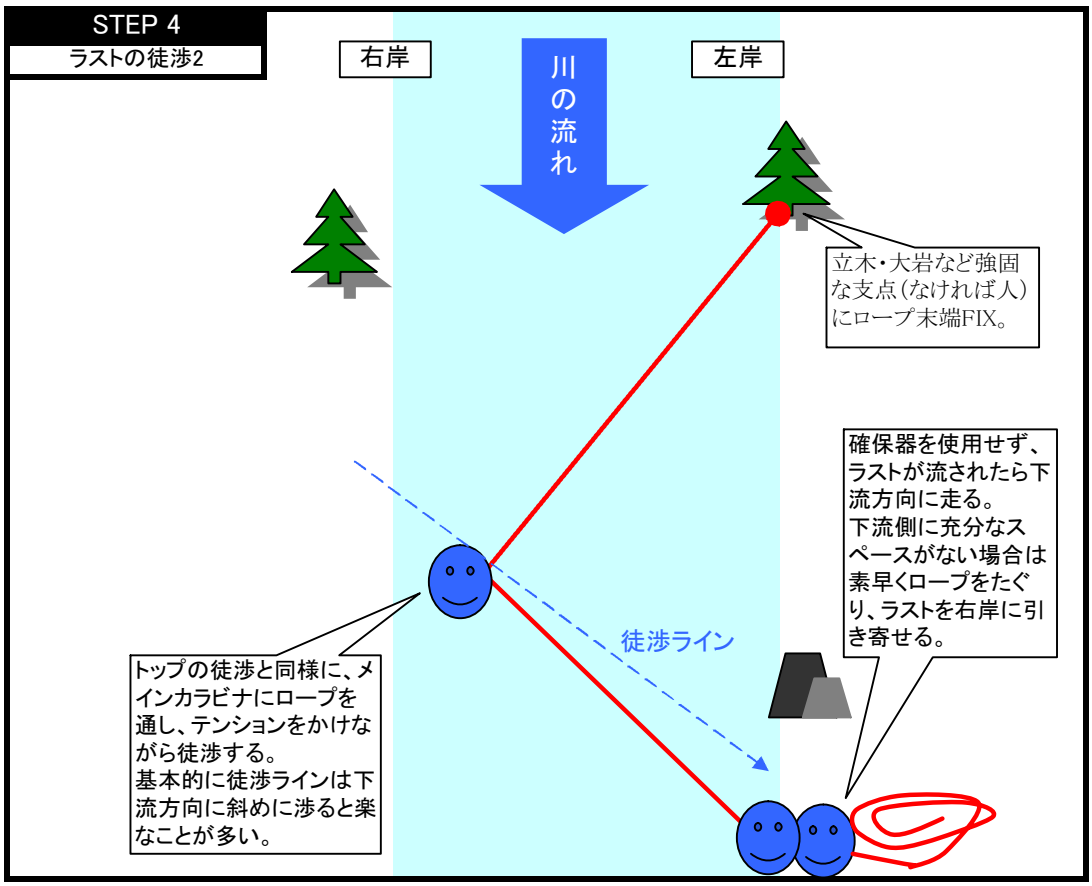
末端交換三角法

ぶなの会
2007年7月徒渉訓練


STEP 1
トップの徒渉
右岸
川の流れ
左岸
立木・大岩など強固な支点（なければ人）にロープ末端FIX。
メインカラビナにロープを通し、テンションをかけながら徒渉する。
基本的に徒渉ラインは下流方向に斜めに渉ると楽なことが多い。
確保器を使用せず、トップが流されたら下流方向に走る。
下流側に充分なスペースがない場合は素早くロープをたぐり、トップを右岸に引き寄せる。
徒渉ライン


STEP 2
セカンドの徒渉
右岸
川の流れ
左岸
立木・大岩など強固な支点（なければ人）にロープ末端FIX。
中間徒渉者はメインループに50cm程度のシュリンゲを取り付け、カラビナを介してロープにクリップ。ロープにテンションをかけながら徒渉する。
身体はロープの下流側。
仮に流されてもガイドロープにより対岸に着陸できる公算が高い。
徒渉ライン
立木・大岩など強固な支点（なければ人）にロープ末端FIX。ガルーダヒッチなどである程度ロープを張るとよい。
3番手、4番手がいる場合、セカンド徒渉後ロープを手繰る。
残りのロープが2/3以上あれば徒渉者のメインにロープをFIXしトップが引っ張ることも可能。


STEP 3
ラストの徒渉1
右岸
川の流れ
左岸
右岸にあったロープ両末端を連結し、結び目を両岸で協力して左岸に移す。
ロープが流されないようにロープをカラビナにクリップしたうえでたぐる
ロープが流されないようにロープをカラビナにクリップしたうえでたぐる


STEP 4
ラストの徒渉2
右岸
川の流れ
左岸
立木・大岩など強固な支点（なければ人）にロープ末端FIX。
確保器を使用せず、ラストが流されたら下流方向に走る。
下流側に充分なスペースがない場合は素早くロープをたぐり、ラストを右岸に引き寄せる。
徒渉ライン
トップの徒渉と同様に、メインカラビナにロープを通し、テンションをかけながら徒渉する。
基本的に徒渉ラインは下流方向に斜めに渉ると楽なことが多い。